

J A グループ宮城 災害復興ニュース (総 合 版)

第 9 8 号

【平成 29 年 3 月 2 日 (木) 発行】
発行：J A グループ宮城災害復興本部
編集：J A 宮城中央会
〒980-0011 仙台市青葉区
上杉 1 丁目 2 番 16 号 JA ビル宮城 6F
電話番号：022-264-8207
FAX 番号：022-216-4466

《目次》

1. 震災復興に向け「東北の食と農の商談会」。過去最大 63 団体が出展
2. 東北電力のイベントで J A の 6 次産業化商品を P R
3. 原発事故損害賠償対策宮城県協議会が東京電力に第 66 次請求

1. 震災復興に向け「東北の食と農の商談会」。過去最大 63 団体が出展

農林中央金庫と東北 6 県の J A グループは 2 月 21 日、東日本大震災からの産地復興を目指し、東北の食と農の商談会を仙台市で開きました。

震災後 6 回目の開催となる今回は、過去最多の 63 団体が出展。流通、小売り、百貨店、外食など約 80 団体に、それぞれの特産品などを P R しました。



宮城県内からは、J A 自慢の農産物や 6 次化商品がずらりと並びました。仙台が「仙大豆」、J A みどりののは焼酎「のまいん」、J A 古川は「美味 (ほんもの) うどん」、J A あさひなは発売したばかりの「ねぎみそかりんとう」、(株) J A 加美よつばラドファは「金のいぶき発芽米玄米ごはん」などの 6 次産業化商品を、J A 南三陸は「波乗りトマト」を展示、P R しました。このほか、(株) やまもとファームみらい野や仙台市の農事組合法人などが、自慢の農産物を出品しました。

2016 年度の商談会では、直後に 23 件の商談が成立しました。農林中央金庫の後藤彰三常務は「震災から 6 年。被災地では、農地の面的な集積による大規模化や機械化、6 次化による付加価値向上など、農林水産業が持続的に発展するための新しい形づくりに取り組む事例が生まれてきた。そうした取り組みを結実させ、生産者の経営をいかに安定化させるが、今後の課題。販路拡大になお一層取り組んでいく」と語りました。

2. 東北電力のイベントでJAの6次産業化商品をPR

“石巻別街道”（国道108号線）沿いの地場産品などを販売する「街道を結ぶうまいもの味めぐり2017」が、仙台市一番町の東北電力グリーンプラザで開かれ、JA宮城中央会は沿線4JAの6次産業化商品などを紹介しました。併せて「みんなのよい食プロジェクト」や「みやぎの環境保全米」もPRしました。

イベントは東北電力口宮城支店が主催し、今年で3回目。大崎市、涌谷町、美里町、



JAの6次化商品を紹介する中央会職員

石巻市産の野菜や海産物、加工品、菓子類などが勢ぞろいしました。

中央会は、JA古川の「古川美味（ほんもの）うどん」、JAいわでやまの「凍り豆腐」、JAみどりの「米焼酎のまいん」、JAいしのまきの「焼肉のタレ」などを展示PR。来場者に、JAみどりの「デリシャストマトジュース」を試飲サービスしました。会場には、9月に開かれる第11回全国和牛能力共進会宮城大会のPRコーナーも設けられました。

3. 原発事故損害賠償対策宮城県協議会が東京電力に第66次請求

JAグループ東京電力原発事故農畜産物損害賠償対策宮城県協議会は2月24日、仙台市で第53回総会を開き、東電への第66次請求を約945万円とすることを決めました。2月28日に請求しました。

内訳は、牧草の利用自粛等に係る損害が879万円、牧草地の除染に係る損害が66万円となっています。

以上